

文京区立森鷗外記念館コレクション展

兄・鷗外を支えた、弟たちの物語



森家三兄弟

—— 鷗外と二人の弟 ——

2017年 7月7日 (金) FRI → 10月1日 (日) SUN

文京区立森鷗外記念館 展示室2

10時—18時 (最終入館は17時30分) / 一般300円 (20名以上の団体: 240円)

※ 7月9日(日)、10日(月)は20時まで開館 (最終入館は19時30分)
 ※ 8月22日(火)、9月26日(火)は休館

文京区立森鷗外記念館
 〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4
 電話: 03-3824-5511

morigai-kinenkan.jp



文京区立
 森鷗外記念館
 Mori Ogai Memorial Museum

鷗外には二人の弟がいました。

一人は5歳年下で慶応3(1867)年生まれの篤次郎、もう一人は17歳年下で明治12(1879)年生まれの潤三郎です。現在では語られる機会が少なくなりましたが、それぞれ劇評家、考証学者として活躍した弟たちです。

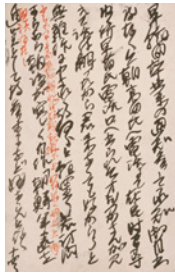
鷗外が「敏捷」と形容する篤次郎は、鷗外と共に西洋詩や演劇論を翻訳し、鷗外主宰の雑誌「しがらみ草紙」「めさまし草」などの編集にも関わりました。潤三郎は鷗外の史伝『伊澤蘭軒』『北條霞亭』などにおいて、鷗外の依頼を受け、史料蒐集や調査を引き受けました。また、鷗外の業績を後世に残すため、全集や評伝の刊行に努めました。

鷗外は二人を頼りにしていた一方で、長兄として、弟たちが困難に直面した際には、解決のために全力を尽くします。鷗外は自身と篤次郎について「こんな風に性癖の相違があつても、博士と弟とは喧嘩と云ふ程の喧嘩をしたことがない」(『本家分家』)と記していますが、三人の関係そのものを物語っているのかもしれませんが。

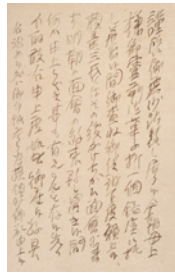
本年は篤次郎生誕150年にあたります。本展では、二人の弟たちに焦点をあて、彼らの生涯と業績を当館のコレクションを通して紹介します。互いを敬愛し、信頼しながら支え合ってきた森家三兄弟の絆をご覧ください。



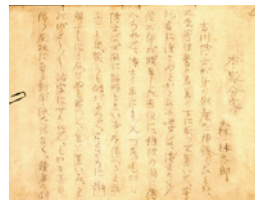
印鑑「参木之舎」
(明治12年頃)
若き日の鷗外が、篤次郎と共に使用した手製の蔵書印。



篤次郎筆潤三郎宛葉書
(明治38年7月14日消印)
潤三郎の大学卒業を祝う葉書。



潤三郎筆鷗外宛葉書
(大正6年3月27日消印)
鷗外から受けた、史伝『渋江抽斎』に関する調査依頼に対する返答。



鷗外自筆原稿「本家分家」
(大正4年)
篤次郎没後の頼末を題材にした、生前未発表作品。



「歌舞伎」100号
故三木竹二君追善号
(明治41年11月)
篤次郎追悼号。
三木竹二は篤次郎の筆名。



森潤三郎、森於菟共編
『鷗外遺珠と思ひ出』
(昭和8年 昭和書房)
『鷗外全集』に収録されなかった鷗外著作をまとめたもの。

● ギャラリートーク

展示室にて当館学芸員が展示解説を行います。
7月19日、8月23日、9月6日、20日 いずれも水曜日14時～(30分程度)
※申込不要、展示観覧券が必要です。

● 家族でギャラリートーク

森家三兄弟や家族の話題を中心とした展示解説を行います。
8月11日(金・祝) 11時～(30分程度)
※申込不要、展示観覧券が必要です。

● 関連講演会

「森家の人々の芝居見物—森篤次郎(劇評家・三木竹二)を中心に」

講師： 神山彰氏(明治大学教授)
日時： 9月9日(土) 14時～15時半
会場： 文京区立森鷗外記念館 2階講座室
定員： 50名(※事前申込制)
料金： 無料
申込締切： 8月18日(金) 必着

▶ 往復はがきでのお申し込み：

往信に「9月9日講演会」・氏名(ふりがな)・住所・電話番号を、返信用には、住所・氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館「展示関連講演会」受付係までご応募ください。

▶ Eメールでのお申し込み：

件名に「9月9日講演会」、本文に氏名(ふりがな)・電話番号・Eメールを明記の上、bm-k-event@moriogai-kinenkan.jp にご応募ください。

※お申し込みは、1通につき1名様(お一人様1通まで)、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
※ご不明な点等ございましたら、文京区立森鷗外記念館にお問い合わせください。

● 同時期開催

コレクション展開催中のコーナー展示として、下記資料を展示します(会場・展示室1)。通常展覧券で、コレクション展とともにご覧いただけます。

▶ 7月9日の鷗外命日(鷗外忌)にちなみ、鷗外「遺言書」の原資料を展示します。
展示期間：7月1日(土)～31日(月)の開館日

▶ 鷗外の長女・森茉莉の没後30年にあたる本年、当館所蔵の森茉莉自筆原稿を紹介します。
展示期間：7月7日(金)～10月1日(日)の開館日

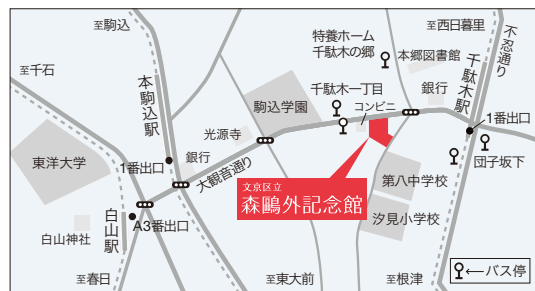
● 交通案内

▶ 電車：

- ・東京メトロ千代田線「千駄木」駅 1番出口→徒歩5分
- ・東京メトロ南北線「本駒込」駅 1番出口→徒歩10分
- ・都営三田線「白山」駅 A3番出口→徒歩15分

▶ バス：

- ・都営バス 草63番系統「千駄木一丁目」下車→徒歩1分
- ・都営バス 上58番系統「団子坂下」下車→徒歩5分
- ・Bーぐる 千駄木・駒込ルート「18特別養護老人ホーム千駄木の郷」下車→徒歩5分



※一般の駐車場がございませんので、上記の公共交通機関をご利用ください。

森家三兄弟 — 鷗外と二人の弟 —

▶ 会期：

2017年7月7日(金)～10月1日(日)
※会期中の休館日 8月22日(火)、9月26日(火)

▶ 開館時間：

10時～18時(最終入館は17時30分)
※7月9日(日)、10日(月)は20時まで開館(最終入館は19時30分)

▶ 観覧料：

一般300円(20名以上の団体：240円)
※中学生以下無料、障がい者手帳ご提示の方と同伴者1名まで無料
※文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、友の会会員証ご提示で2割引
※その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。

文京区立森鷗外記念館
〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4
電話：03-3824-5511
URL：<http://moriogai-kinenkan.jp>